

地球環境局環境保全対策課

1．事業の概要

近年、漂流・漂着ゴミによる環境・景観の悪化、船舶の安全航行や漁業の被害などの深刻化が指摘されている。漂流・漂着ゴミについて、より効果的な発生源対策や清掃運搬処理を進めるためには、漂着の状況と地域の特性を踏まえた取組が必要である。このため、一定範囲の海岸のモデル地域において、地域全体の漂着ゴミの状況や地域特性について情報を収集し、地域の実情に応じた漂流・漂着ゴミの回収・処理方法及び対策のあり方を検討する。また、漂流・漂着ゴミの全国的な実態把握を行うため、漂着ゴミモニタリングの国内外での取組事例を整理するとともに、フィールド調査を実施し、我が国において適切な漂着ゴミのモニタリングガイドラインを策定する。

2．事業計画

（1）漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査

19～20年度のモデル地域（7県11海岸）での調査結果を踏まえ、21～22年度では、新たなモデル地域等で各調査（概況調査、クリーンアップ調査、フォローアップ調査等）及び検討会を運営し、地域の実情に応じた漂流・漂着ゴミの回収・処理方法及び対策のあり方を整理する。

（2）漂着ゴミ状況把握手法開発調査

地方公共団体やNGO等と連携し、漂着ゴミのモニタリングを試行し、モニタリング実施に当たっての課題等を整理する。また、検討会を設置し、地域の関係者との連携による漂着ゴミのモニタリング手法について検討し、ガイドラインを策定する。

3．施策の効果

地域の実情に応じた漂着ゴミの効率的・効果的な状況把握、回収・処理方法を確立し、国際的な連携と相まって、漂流・漂着ゴミの削減を図り、もって海洋環境保全に資する。

4 . 備考

職員旅費 1 百万円

調査費 2 0 百万円

漂着ゴミ状況把握手法開発調査 2 0 百万円

委託費 3 5 2 百万円

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査 3 5 2 百万円

漂流・漂着ゴミ国内削減方策モデル調査の概要

モデル調査の内容

三種類の調査

概況調査

モデル地域を含む一連の海岸線について、概況(漂着ゴミの状況、ゴミ発生源の有無、ゴミ処理施設の有無等)や地域の取組状況等を調査する。

クリーンアップ調査

モデル地域において、共通の手法を用いて漂着ゴミを回収、分類、集計する。
モデル地域の調査区域の清掃を行い、地域特性に応じた効率的・効果的な回収・処理方法を検討する。

フォローアップ調査

クリーンアップ調査による清掃後、モニタリングにより定期的に漂着状況を把握する。
漂着状況の時間的・空間的分析等を実施する。

【総括検討会】

調査全体の企画、進捗状況の管理、全体の調査結果のとりまとめ等を行う。

【地域検討会】

モデル地域毎に地域の関係者により構成し、地域の実情に応じた調査の企画、効果的な対策のあり方の検討等を行う。

地域の実情に応じた漂着ゴミの効率的・効果的な回収・処理方法の確立を図る

漂着ゴミ状況把握手法開発調査

漂着ゴミ対策のPDCA
サイクルを補完

地域の実情に応じた漂着ゴミの効率的・効果的な
状況把握手法の確立を図る

